教育学部・教育学研究科・教職センター 教員各位

新年度の授業・各種会合等への対応について【教育学部版・第１報】
（新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から）

2020.4.1. 教育学部運営会議

１、はじめに

ご存じのとおり、新型コロナウィルス感染については、我が国でも緊迫感を日々増しており、新入生・在学生を問わず学生・院生の間でも不安が広がっているようです。

大学本部からも適宜何らかの判断や指導、指示があるはずですが、学部ごとに特徴特色があるため、具体的・実際的な対応は学部に委ねられています。教育学部においては、実習系科目のオリエンテーションが授業開始前に行われたり、授業でも学生同士が密に接する形態のものが多かったりと、他学部にはない要素があります。また、教育学部として危機管理を徹底することは、将来子どもたちを預かる教員を目指す学生たちへのメッセージともなります。学生・院生の不安感にも寄り添わなければなりません。

ついては、対応・対策が後手に回らないよう、運営会議で現時点での方針を原案として取りまとめました。４月３日（金）に臨時代議員会を開催して更に情報・意見を交換し、より適切な内容にしていきますが、大方の方向性は下記のように考えますので、教員間での共有および学生への周知・指導をお願いいたします。

２、全体として了解しておきたいこと

〇この【第１報】は、2020 年４月１日時点での大学の対応や世情に基づいて作成したものである。したがって、具体的な日付や期間などについては、状況に合わせて再延期するなど、今後も適宜変更する場合がある。

〇海外渡航のみならず、帰省や移居等で最近２週間以内に県内外を往来した教職員や学生においては、マスク着用や他者と接触する際の手指消毒（手洗い）等を徹底する。

〇現時点では大学の判断としては４月９日（木）から授業が行われることになっているが、「２週間」を目安に、原則として４月 22 日（水）までは、授業・行事・会合・会議等の人が集まる機会において、十分な配慮をする。

〇実施の際には、十分な広さ（着席した際に両隣に空間を確保できる）をもつ教室・会場で行い、換気に努める。

〇いかなる内容の集まりであっても、37 度以上の発熱や自覚的な体調不良がある場合は、出席・参加を控える／控えさせる。

〇（少なくとも）上述の 22 日までは、疾患を抱えているなどの身体的理由のみならず、「感染が怖い」という精神的理由においても、欠席・不参加を権利として認める。

○上述の 22 日までの欠席・不参加は、成績評価・勤務評価等において特別な配慮をする。
○学生は必要以上に構内に留まらず、授業や必要な集まりが済んだら帰宅する。放課後の教室は施錠し、開放しない。学生研究室にも出来るだけ留まらないよう指導する。
○学生は、授業担当教員からの連絡・情報を適宜得るために、次のことに留意しておく。
・教育学部ＨＰをまめに確認する。
・大学から配付されたメールアドレス（◇◇◇@eve.u-ryukyu.ac.jp）を有効にし、教務情報システム経由のメールを受信できるようにする。
・教員によっては WebClass を活用する可能性がある。

３、学生のオリエンテーション系行事について

○介護等体験オリエンテーション（４月２日、新２年次対象）
・学生に告知すべきことがあるため、時間を短縮して実施する。法文新棟 215 室にて 15～20 分程度で全体説明を行ったのち、専修ごとに教育学部内の教室に分かれて、専修の教育実習委員が指導にあたる。
・全体会では法文新棟 215 室の広さを活かして、両隣を空けた状態での着席を促す。
・特に最近２週間以内に県内外を往来した学生には、マスク着用と入室前の手洗いを促す。

○教職体験Ⅱオリエンテーション（４月２日、新２年次対象）
・４月 22 日（水）に延期する。
・各学校での実習開始日を、５月 13 日（水）から５月 20 日（水）に変更し、それに伴い実習日数を７日から６日に短縮する。

○学校教育実践研究（附属学校実習）オリエンテーション（４月４日、３年次対象）
・４月 22 日（水）に延期する。
・実施できなかった授業の代替として、CBT 問題(教育実習前の実践力チェックテスト)の活用も検討する。

○学校教育実践研究（公立学校等実習）オリエンテーション（４月４日、４年次副免対象）
・授業開始（初回がオリエンテーション）を４月 23 日（木）以降に延期する。
※この授業の受講者は６名と少人数だが、終日の集中講義形式で模擬授業を行うため、延期の対応とする。

○新入生オリエンテーション（４月６日、新入生対象）
・履修指導や当面必要な連絡をするため、時間を短縮して（出来るだけ 60 分以内）実施する。→９時開始と指定しているので時間をずらして実施はできないが、使用教室は分散してある。
・特に最近２週間以内に来県した新入生には、マスク着用と入室前の手洗いを促す。
・参加する教員の数は、専修内で適宜調整する。
・具体的な WEB 登録の方法などは上級生が指導する専修が多いはずだが、出来るだけ

人数を限定し、短時間で終えるよう、各専修で指導する。

〇その他、専修毎に企画しているものは、上記の方針にならい、延期・中止を含めて適宜判断する。

４、授業について

※下記は、現時点での大学の方針（９日より授業開始）に沿っています。今後、延期等の判断や指示が出た場合には、随時方針を変更します。

〇教育実習対応の実践研やプレゼミなど、４月９日（木）より前に学生が直接集まる授業は、行わない。

〇４月 22 日（水）まで、原則として受講者 10 名を超えると見込まれる授業については、通常の対面方式では実施しない。

・２週分の授業を実施せず全 13 回（以内）でも十分な内容を確保できる場合には、休講としてよい。（その場合の補講は義務としない。）

・学生が直接集まった状態での全 15 回の確保が必要な授業は、休講分を学期末（学生と合意できれば土日等も可）に補講する。

・「ＺＯＯＭ等によるオンライン講義」のほか「課題提示による自宅学習指示」「メール等によるレポート提出」等、授業に代替しうると授業者が判断する場合は、授業を実施したものと見なす。

・上述の代替措置については、学務係に内容を報告する。（書式は後に提示する。管理のためではなく事例収集のため。）

・オンライン講義は、学生がノートパソコン等を保有していることが必要になるが、それがない学生が不利益を被らないように注意する。（パソコン室の使用を可能にするなどの対応が考えられる。）

〇受講者 10 名以内と見込まれる授業であっても、授業者の判断により、上記の代替措置等を認める。

〇受講者 10 名以内で通常の授業を実施する場合には、下記のような注意を十分に払う。

・最近２週間以内に県内外を往来した学生にマスク着用・手洗いを促す。

・時間割配当表に記載された教室にこだわらず、十分な広さを確保できる教室に適宜移動する。（空き教室の情報をメールボックス部屋に掲示するなど、今後方法を考える。）

・身体的および精神的不安を抱えている学生の欠席に対して特別な配慮をする。

５、教職員の会議等について

〇４月１日（水）13 時より、文系総合棟 305 室（教職大学院の教室）にて、辞令交付と新任研修を行うが、当初の予定を大幅に短縮し、90 分で終わるメニューとする。

〇４月３日（金）13 時より、本件について情報・意見交換するために臨時代議員会を行うが、十分な広さを確保するため 104 室を使用する。

○各種委員会等の開催については、委員長の判断に委ね、場所や時間短縮、メール会議への切り替えなど、適宜工夫する。
○各専修等での会議においても、十分に配慮・考慮のこと。

６、その他（学部運営会議からのメッセージ）

○上述の対応は教育学部独自のものですが、すでに学長や担当理事、危機対策本部等に了解を得ていることを申し添えます。
○３、および４、の内容については、学生にも、掲示やＨＰ掲載などにより告知しますが、専修ごとに主任や年次指導教員を通じて、出来る限りの周知をお願いします。
○教育実習が実施できない可能性もあるため、教員免許が取得できないのではないかという不安を抱いている学生もいるようです。この件については全国的な問題です。国として、学生に不利益が被らないような対策を打つはずですので（現在、全国的な学部長会議にも協議題として提案しています）、各教員からも不安を取り除く声かけをお願いいたします。
○４、に但し書きしたように、大学の判断や指示に応じて、対応が変わることがありますので、日々のメールチェック等よろしくお願いします。
○今後、全学的に対面授業が一斉に中止となることも考えられます。その場合の対応策を、考えておかれることを勧めます。
○運営会議としては、オンライン講義の方法についてレクチャーする会の開催を（もちろん環境に配慮したうえで）、今後検討したいと思います。

以上

教育学部・教育学研究科の学生の皆さんへ

新年度の授業・各種会合等への対応について【教育学部版・第１報】
（新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から）

2020.4.1. 教育学部運営会議

オリエンテーション系行事について

【実施】**介護等体験オリエンテーション（４月２日、新２年次対象）**

・法文新棟 215 室にて 15～20 分程度で全体説明を行ったのち、専修ごとに教育学部内の教室に分かれて、専修の教育実習委員が指導します。

・全体会では、両隣に空間をつくって着席してください。また、最近２週間以内に県内外を往来した学生は、マスク着用と入室前の手洗いをお願いします。

【延期】**教職体験Ⅱオリエンテーション（４月２日、新２年次対象）**

・４月 22 日（水）に延期します。詳細は追ってお知らせします。

【延期】**学校教育実践研究（附属学校実習）オリエンテーション（４月４日、３年次対象）**

・４月 22 日（水）に延期します。詳細は追ってお知らせします。

【延期】**学校教育実践研究（公立学校等実習）オリエンテーション（４月４日、４年次対象）**

・４月 23 日（木）以降にします。詳細は追ってお知らせします。

【実施】**新入生オリエンテーション（４月６日、新入生対象）**

・当面必要な連絡をするため、時間を短縮して（出来るだけ 60 分以内）実施します。

・WEB 登録の方法などを指導してくれる上級生の皆さんは、出来るだけ人数を限定し、短時間で終えるよう、各専修の教員とよく相談してください。

授業について

○４月８日（水）以前は、ゼミ・実践研などを含め、授業は実施しません。

○４月９日（木）から 22 日（水）までの２週間は、下記の対応をします。

・原則として 10 名を超える受講者がいる授業は、通常の方式では実施しません。

→登録調整については、個別に担当教員に連絡してください。なお、オンライン授業やレポート提出など、授業に代替する指示が教員から出る可能性があります。

・10 名以下の受講者による授業は、担当教員の判断で実施する場合と実施しない場合があります。担当教員の指示に従ってください。

・授業が行われる場合でも、発熱や身体的違和感がある学生は、欠席してください。また、授業に出席することに身体的または精神的な不安がある場合には、欠席してもかまいません。この欠席については、通常の欠席扱いにしないよう配慮します。

○今後、教育実習等が中止になることが考えられますが、非常時なので、教員免許取得のために代替措置・救済措置が講じられるはずですので、心配しないでください。

大学内での諸注意

○4 月 22 日（水）までは、必要以上に構内に留まらず、授業や必要な集まりが済んだら帰宅しましょう。学生研究室にも出来るだけ留まらないように努めてください。

○学務係や年次指導教員、授業担当教員等からの連絡・指示が受けられるよう、教育学部ホームページや WebClass をまめにチェックしてください。また、大学から配付されたメールアドレス（◇◇◇@eve.u-ryukyu.ac.jp）を有効にし、教務情報システム経由のメールを受信できるようにしてください。